



# 天覧山 1月増刊号

飯能市立飯能西中学校  
学校だより  
令和4年度 第10-2号  
令和5年1月24日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

みんなと一緒に生活していればいろいろなことがあります。けれども、これら一つ一つに真摯に向き合うことを通して、私たち一人一人がお互いに大切にされていることを実感し、家に帰った時には、元気よく「ただいま」と言えたらよくありませんか。生徒にとっても、先生にとっても、そんな学校でありたいと願います。

校長 中村 公一

大寒を迎えここ数日寒い毎日が続いています。この季節、朝夕の冷え込みは厳しいものの、日中に日差しがあるときは教室の窓やドアを閉めてさえおけば結構暖かくなるものです。しかし今は感染予防のために常時換気をしなければならぬので締め切る訳にはいきません。また近頃は光熱費が高騰しているため暖房に関しても節約が求められており、生徒の体調管理を優先的に考えてはいるものの、この寒さがいつまで続くのか気が気ではありません。このような中、3年生の入試もいよいよ本番を迎えました。健康や安全に留意しながら全力で取り組んでほしいと思います。

## 学校生活の様子を紹介します（1・2月）

### 生徒会スローガンを発表！



**Your vision ,Our Future**  
—明日への革新を仲間と共に—  
どんなイノベーションを巻き起こしてくれるのかとても楽しみです。



毎学期初めに行われる自転車点検。学区の中には急な坂道も多いので、安全に運行できるよう、特にブレーキには気をつけてほしいと思います。また、最近は自転車の盗難が相次いでいます。校地内でも鍵をかける習慣をつけるよう、警察の方から指導を受けましたのでよろしくお願いします。

### 避難訓練（不審者侵入対策）を行いました



教員は不審者に対応し、生徒は逆方向に避難します

不審者への対応は様々なケースが考えられます。私が勤務していた海外の日本人学校では、生徒を人質として略取するためにテロリストが侵入してきた場合を想定した避難訓練をしていました。この場合、学校は犯人に取り囲まれていることが想定されるので、逃げるのではなく学校内で隠れ、警察が到着するまでの数分間をじっと物音を立てずに我慢するという訓練でした。

## 「立志の会」 2年生の生徒が将来に向けた決意を述べました

以前は多くの学校で立志式を行っていました。日本で古くから行われていた「元服」の儀式を模し、生徒一人一人が自分自身の『志』を立てて、前向きに自分の将来を設計する力を培おうとするものです。去年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり生徒のみでクラスごとに行いましたが、今年は保護者にも聴いていただくことができました。体育館では各クラスの代表生徒からの決意表明を聴くと共に、ゲストとして招いた卒業生から感想や応援のメッセージをもらいました。



## 西中の給食について紹介します



今年最初の給食は紅白の丸餅が入ったお雑煮と、衣がパリッとした鶏肉の味噌だれがけでした。

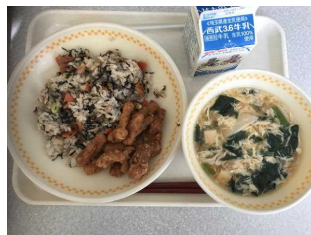
大豆とジャコの甘辛煮とおでん。鰹節から取ったおでんの出汁は澄んでいて優しい味です。



ひじきご飯とかき玉スープ。イカのカレー揚げはおつまみにしたいくらい最高の出来でした。



スパゲティのミートソースはトマトピューレと赤ワインにナツメグが効いて本格的な味です。



みなさんもよくご存じのとおり飯能市の学校給食は各学校の調理場で調理して提供する自校方式をとっています。センター方式と違い移動の時間がないので味や温度だけでなく色合いもよいまま提供できるのが大きな強みです。また生徒の成長を考え栄養価だけでなく、醤油、みりん、味噌、三温糖、鶏ガラ、煮干し、鰹節といった基本の調味料や出汁を使い、市販の合わせ調味料や合わせ出汁などを極力使わないようにしていることも大きな特徴です。カレーなども小麦粉とバターでルーを作りそれにカレー粉を混ぜ合わせているので業務用のカレールーは使いません。まさに手作りと言っても過言ではないでしょう。そのため給食の味噌汁は一口飲んだだけで口の中に煮干しの深い味わいが広がりますし、うどんのつゆには鰹節の澄んだ味と香りがあります。また、ハムやソーセージなどの加工肉はあまり使わず「豚コマ肉」や「鶏コマ肉」を使うことで添加物が少なく費用も抑えた献立となっています。しかし、最近の物価高により費用を抑える努力ももはや限界に達しており、どの学校も頭を抱えている状態です。

〇〇世代とひとくくりではばれないように

生徒の皆さんへ

ちょうど一年前の学校だよりで「コロナ世代」の話をしました。人生の転換期を迎えた大事な時期に、新型コロナウイルス感染症によって引き起こされた社会混乱により、何らかの影響を受けている子どもや若者のことです。正にみなさんがコロナ世代ということになるのですが、一方で皆さんは「Z世代」とも呼ばれていますね。その大きな特徴の一つとして情報の収集手段が挙げられます。テレビの視聴時間よりもインターネットの利用時間の方が長く、情報収集源は新聞やテレビなどではなく、もっぱらWebメディアよるといえるものです。私の娘を見ていて思うのですが、みなさんは私たちの世代とは違い、ネット上に溢れる多くの情報の中から、自分に合ったものを取捨選択する能力に長けています。しかしその一方で自分にとって都合のいい情報ばかりが目が行ってしまうという確認バイアス（以前の学校朝会や学校だよりで紹介しました）に落ちいりがちではないでしょうか。育った環境が違うのですから世代間でその特徴に違いがあるのは当然のことでしょう。大切なのはその特徴を理解し世代間のギャップを乗り越えることです。